



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,472	2.7	386	△2.8	389	2.4	173	23.5
23年3月期第3四半期	8,250	28.7	397	△25.3	380	△24.2	140	△60.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 167百万円 (25.7%) 23年3月期第3四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30.97	—
23年3月期第3四半期	25.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	7,845	3,134	39.9	559.55
23年3月期	7,478	3,079	41.1	549.17

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,128百万円 23年3月期 3,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.1	400	△1.7	390	2.1	180	△62.7	32.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	5,591,630 株	23年3月期	5,591,630 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	397 株	23年3月期	353 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	5,591,238 株	23年3月期3Q	5,591,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が回復基調にあるものの、円高や海外経済の減速などにより先行き不透明感が強まる状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、引き続き雇用環境や所得環境が厳しいことから、消費者の節約志向や内食志向が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、ブランド戦略を堅持しながら、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、食品事業におけるドレッシング商品やパスタ関連商品が好調に推移したことなどから、84億72百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴い売上総利益が増加する一方、テレビコマーシャルの放映など情報発信の強化による販管費の増加により、営業利益は3億86百万円（前年同期比2.8%減）、経常利益は3億89百万円（前年同期比2.4%増）、四半期純利益は1億73百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

「おいしさと健康」のブランドイメージを訴求した地域密着型小売店への営業を継続して推し進めるとともに、テレビコマーシャルに連動した販促施策を実施したことにより、主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライタイプ、グリーン、焙煎香りごま）が好調に推移いたしました。

また健康志向の高まりから、オリーブオイルを使用したドレッシングがご好評をいただいております、このアイテムも大きく伸ばいたしました。

さらに、試食販売や他社とのコラボレーションなどによる販促を強化したことから、パスタ関連商品（パスタソース、スパドレ）も順調に売り上げを伸ばしております。

以上の結果、売上高は41億43百万円（前年同期比19.3%増）、セグメント利益は14億8百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

②通信販売事業

パスタソース「トリュフと3種きのこの和風ソース」をはじめとしたピエトロファーマーズシリーズの新商品の投入に加え、オリーブオイルやワインなど販売商品を拡充し、専門店の味をご家庭でも味わっていただけるよう品揃えの充実を図ってまいりました。また平成23年9月には、ホームページの全面リニューアルを行い、オンラインショッピングの利用促進を図りました。

また、ダイレクトメールなどによる既存顧客のリピート率向上やメールマガジン配信などを行う一方、新聞広告を控え効率的な販促活動を実施してまいりました。

以上の結果、売上高は6億33百万円（前年同期比19.8%減）、セグメント利益は34百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

③レストラン事業

季節ごとのフェアとして、「冷製パスタフェア」や「カルボナーラフェア」などを実施いたしました。また、平成23年12月に実施したグランドメニューのリニューアルでは、「イタリー麺」や「カルツォーネ（包みピザ）」など25種類の新メニューを加え、お客様にさらにご満足していただけるようサービスの向上を図ってまいりました。

しかしながら、外食を控える傾向が続いており、来客数の減少や店舗閉店の影響などにより、前年同期と比べ減収となりました。一方、コスト管理の強化や本部間接費の削減を行い、利益向上を図りました。

以上の結果、売上高は23億3百万円（前年同期比11.9%減）、セグメント損失は9百万円（前年同期は1億2百万円のセグメント損失）となりました。

④生産管理事業

商品開発と生産管理に関する受託事業につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしました。

売上高は12億83百万円（前年同期比1.7%増）となり、セグメント利益は商品構成が変わったことから16百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

⑤その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は1億8百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は47百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億66百万円増加し、78億45百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億70百万円、第3四半期末が金融機関休業日であることにより売掛金が4億42百万円増加する一方、その他の流動資産が3億62百万円、有形固定資産（純額）が1億16百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ3億11百万円増加し、47億10百万円となりました。これは売掛金と同様に第3四半期末が金融機関休業日であることによる買掛金の増加2億51百万円、その他流動負債の増加2億94百万円、役員退職慰労引当金が54百万円増加する一方、返済による長期借入金の減少2億93百万円などによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、31億34百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億11百万円及び四半期純利益1億73百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績等の動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期連結業績予想値を修正しております。詳細は、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700,421	1,071,170
預け金	57,597	70,433
売掛金	1,090,012	1,532,860
商品及び製品	78,347	69,674
仕掛品	2,023	3,429
原材料及び貯蔵品	116,769	137,821
その他	611,528	248,991
貸倒引当金	△20,285	△7,103
流動資産合計	2,636,413	3,127,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,755,772	1,673,097
土地	1,968,498	1,965,002
その他（純額）	213,263	183,367
有形固定資産合計	3,937,534	3,821,467
無形固定資産	6,941	15,119
投資その他の資産		
敷金及び保証金	527,513	501,911
その他	395,223	395,415
貸倒引当金	△25,380	△16,170
投資その他の資産合計	897,356	881,156
固定資産合計	4,841,832	4,717,743
資産合計	7,478,246	7,845,021
負債の部		
流動負債		
買掛金	602,657	854,007
短期借入金	1,400,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	418,472	288,488
未払法人税等	13,281	24,347
賞与引当金	46,659	27,731
その他	580,980	875,862
流動負債合計	3,062,050	3,470,437
固定負債		
長期借入金	679,864	516,400
退職給付引当金	66,582	75,572
役員退職慰労引当金	369,295	424,033
資産除去債務	50,204	50,932
その他	170,683	172,681
固定負債合計	1,336,629	1,239,620
負債合計	4,398,680	4,710,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,082,361	2,143,696
自己株式	△328	△364
株主資本合計	3,073,356	3,134,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,338	△3,591
為替換算調整勘定	△1,435	△2,462
その他の包括利益累計額合計	△2,773	△6,054
少数株主持分	8,983	6,363
純資産合計	3,079,566	3,134,963
負債純資産合計	7,478,246	7,845,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	8,250,961	8,472,593
売上原価	4,267,022	4,332,360
売上総利益	3,983,939	4,140,232
販売費及び一般管理費	3,586,690	3,753,914
営業利益	397,248	386,318
営業外収益		
受取利息	610	427
受取配当金	739	617
固定資産売却益	2,530	149
株式割当益	1,941	—
貸倒引当金戻入額	—	22,259
祝い金収入	3,100	—
その他	2,431	5,034
営業外収益合計	11,353	28,488
営業外費用		
支払利息	20,541	15,151
その他	7,589	10,074
営業外費用合計	28,130	25,226
経常利益	380,471	389,580
特別損失		
固定資産除却損	771	3,543
減損損失	—	3,054
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46,595	—
会員権評価損	950	—
その他	5,869	—
特別損失合計	54,185	6,597
税金等調整前四半期純利益	326,285	382,982
法人税、住民税及び事業税	168,037	33,478
法人税等調整額	18,039	178,522
法人税等合計	186,077	212,001
少数株主損益調整前四半期純利益	140,207	170,980
少数株主損失(△)	△1	△2,179
四半期純利益	140,208	173,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,207	170,980
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,809	△2,253
為替換算調整勘定	△4,652	△1,467
その他の包括利益合計	△7,462	△3,721
四半期包括利益	132,745	167,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,096	169,878
少数株主に係る四半期包括利益	△351	△2,620

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,473,182	789,667	2,614,361	1,262,772	110,977	8,250,961	—	8,250,961
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,762	1,762	(1,762)	—
計	3,473,182	789,667	2,614,361	1,262,772	112,739	8,252,723	(1,762)	8,250,961
セグメント利益 又は損失(△)	1,217,654	△33,331	△102,081	24,530	48,929	1,155,701	(758,452)	397,248

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は758,452千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	生産管理 事業	その他 (本社ビル 等の賃貸) 事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,143,399	633,627	2,303,582	1,283,655	108,327	8,472,593	—	8,472,593
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,462	1,462	(1,462)	—
計	4,143,399	633,627	2,303,582	1,283,655	109,789	8,474,055	(1,462)	8,472,593
セグメント利益 又は損失(△)	1,408,467	34,841	△9,069	16,413	47,201	1,497,854	(1,111,536)	386,318

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,111,536千円であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。